



謎の超笑力をもつ大魔王が、あなたに贈る不思議なムダ話

発行：トラベル・ミトラ・ジャパン (E-mail : daimao@travelmitra.jp)

ぼん子画

(570-0041) 大阪市北区天神橋 1-18-25 第3マツイ・ビル 201 TEL : 06-6354-3011

★次号も読んでもいいかな?と思った方は、メールでご連絡下さい。

「シク教2 弾が当たるまでは大丈夫!？」

当面の問題は、治安と生誕地探しである。

外務省のホーム・ページによると、危険度レベル3「渡航は延期して下さい」とある。

(こりゃダメだ)

しかし、われ等が訪れようと計画しているパンジャブ州は、レベル2「渡航の是非を検討して下さい」である。

ちなみにインドは、一部地域がレベル2であるもののレベル1「十分注意して下さい」である。

そこで、三十年以上付き合いのあるパキスタン在住の日本人に電話してみた。

開口一番彼女が言った。

「いつパキスタンに来るの? 一回も来たことないやん!」

思えば、行く行くと言いながら三十年が経ってしまった。

「治安は大丈夫?」

「鉄砲の弾が当たるまでは大丈夫!」

(おう、マイ・ゴッド!)

女傑おばさんらしい返答だが、妙に納得した。彼女によると平穏な地域もあるが、国全体が危険とみなされパキスタン観光は壊滅状態であるらしい。

さて、次は生誕地探しである。なんと彼女は政府関係の日本人を下調べのため送り込んでいた。そして写真を送ってきた。残念ながら、そこはお目当ての生誕地ではなかったが、感謝・感謝である。

次の手は、米国にいるグルの老妻と連絡をとることであった。

なにせ印パ分離独立(1947年)以前の話で殆ど記憶がなかった。ただ村と長老の名前だけが分かった。

もう一つ課題があった。グルのグル(師匠)を探し出すことである。これも難問だ。何しろ昭和初期の話である。しかも有名な師匠ではない。

(どうやって探すのだよ・・・)

いろいろ調べた結果、グルも師匠も分離独立後にパキスタンからインドに逃れたようである。師匠がどこに定住したか、これまた難問である。

たまたま同名の聖者を見つけた。しかしヒストリーが師匠と異なる。

(さ～て、どうしたものか・・・)

悩む、考えるよりも突っ走るのが大魔王流。いざ、出発ということになった。

読者諸氏はわが輩の苦勞話よりも、大女優のほうに関心があるだろう。

先発隊として一週間前にインドに旅立った大女優が予定のコースから、とんでもないコースに変更したという連絡があった。

(前代未聞だよ。全く・・・)

デリーで合流することになっているが、どうなるのだろうか。

本隊のことで頭がいっぱいなのに、わが輩の頭はさらにパンパンになった。

この先思いやられるよ。読者諸氏よ。